

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン 東京薬科大学 令和3年度 事業実施報告



東京薬科大学薬学部
臨床薬剤学教室
教授 下枝貞彦



本事業終了後の達成目標

ゲノム医療者養成コース修了者

- 本学基礎系教室で得られた知見を基礎研究者と協働し、臨床現場で応用できる薬剤師として活躍できる知識や技術を修得させる。
- 薬学的見地から臨床現場で得られたクリニカルクエストをリサーチクエストに組換え、基礎系教室にて自らが探索研究を行い解決できる能力を有することで、プレシジョンメディシンが実践できる薬剤師育成を目指す。

緩和ケア医療者養成コース修了者

- 緩和ケア領域での薬物療法に精通した人材として、緩和ケア領域における適切な薬物療法を普及させるため臨床現場で後進の指導を行う。
- 入院から在宅療法に至るシームレスな緩和ケア薬物療法を担える薬剤師育成を目指す。



教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想

ゲノム医療者養成コース

- がん専門薬剤師
- 大学教員

緩和ケア医療者養成コース

- 緩和薬物療法認定薬剤師等
- 緩和ケアに特化した薬剤師
- 緩和ケア分野認定看護師
- がん化学療法看護分野認定看護師
- 癌性疼痛看護分野認定看護師
- 乳がん看護分野認定看護師
- がん放射線療法分野認定看護師
- 専門作業療法士（がん分野）
- がん病態栄養専門管理栄養士



事業工程計画

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ゲノム医療者 養成コース	受け入れ準備	新規受入れ：2名 (薬剤師)	→		
緩和ケア医療者 養成コース	受け入れ準備	大学院 新規受入れ：2名 (薬剤師) インテンスィブ新規 受入れ：5名 (薬剤 師4名、その他医療 職1名)	→		
事業の アウトプット	学内シンポジ ウム・セミ ナーの開催 数：1回、参加 予定人数50名	→			国内学会発表3 回、予定発表者 人数5名 →



教育プログラム・コースの受入目標人数

ゲノム医療者養成コース

対象者	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	計
大学院生	0	2	2	2	2	9
インテンシブ	—	—	—	—	—	0
計	0	2	2	2	2	8

緩和ケア医療者養成コース

対象者	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	計
大学院生	0	2	2	2	2	9
インテンシブ	0	5	5	5	5	20
計	0	7	7	7	7	28

甲信越・東北地域における緩和薬物療法認定薬剤師、
がん専門薬剤師を計5名養成すること目標とする



教育プログラム・コースの受入実数

ゲノム医療者養成コース

対象者	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	計
大学院生	0	2	2	2	2	8
インテンシブ	—	—	—	—	—	0
計	0	2	2	2	2	8

緩和ケア医療者養成コース

対象者	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	計
大学院生	0	2	2	2	2	8
インテンシブ	0	5	5	5	4	19
計	0	7	7	7	6	27

東京薬科大学大学院薬学研究科 薬学専攻博士課程 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

ゲノム医療者養成コース・緩和ケア医療者養成コース

令和3年度 臨床腫瘍薬学特論

会場：東京薬科大学医療薬学研究棟3階講義室ほか（日程により変更）



JR中央線「豊田駅」南口下車、スクールバス8分
京王線「平山城址公園駅」下車、バス約8分または徒歩約18分
京王相模原線「京王堀之内駅」下車、バス約8分

参加申込お問合せ先
192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1
東京薬科大学薬学部 臨床薬理学教室 下枝 貞彦
TEL・FAX 042-676-6697 shimoeda@toyaku.ac.jp

- 令和3年6月18日（金）18時30分～20時00分
新潟薬科大学薬学部 薬品分析化学研究室 准教授
中川 沙織 先生
「がん治療におけるゲノム解析の分析方法」
- 令和3年6月25日（金）18時30分～20時00分
東京薬科大学大学院薬学研究科 臨床薬理学教室 助教
畔蒜 祐一郎 先生
「深在性真菌症に対する個別化治療」
- 令和3年7月9日（金）18時30分～20時00分
女子栄養大学栄養学部 生体防御学研究室 准教授
石橋 健一 先生
「がんゲノムと免疫療法」
- 令和3年7月30日（金）18時30分～20時00分
東京薬科大学大学院薬学研究科 臨床薬理学教室 准教授
平田 尚人 先生
「薬剤師によるCardio-Oncologyの実践」
- 令和3年9月3日（金）18時30分～20時00分
日本薬科大学 臨床薬学分野 教授
勝山 壮 先生
「抗がん剤誘発性末梢神経障害の発症機序と治療法」
- 令和3年9月17日（金）18時30分～20時00分
医療法人愛和会愛和病院 薬局長
萬谷 摩美子 先生
「緩和ケアにおける薬学的アプローチ」
- 令和3年9月24日（金）18時30分～20時00分
山梨県立中央病院 薬剤部
花輪 和己 先生
「コンビニオン診断に基づくがん薬物療法とがん患者の感染について」
- 令和3年10月8日（金）18時30分～20時00分
城西大学薬学部 薬学科 薬品作用学研究室
袁 博 先生
「亜ヒ酸の作用とその臨床応用」
- 令和3年10月29日（金）18時30分～20時00分
特定医療法人新生病院 チャブレン
大和 孝明 先生
「スピリチュアルケア はじめの一步」

- 令和3年11月12日（金）18時30分～20時00分
長野県立こども病院薬剤部 主任
石川 友貴 先生
「小児がんの薬物治療と緩和ケア」
- 令和3年11月22日（月）18時30分～21時10分
東京薬科大学大学院薬学研究科 個別化薬物治療学 教授
降旗 知巳 先生
「これまでとこれからのがんゲノム医療 前編」
- 令和3年11月24日（水）18時30分～21時10分
東京薬科大学大学院薬学研究科 個別化薬物治療学 教授
降旗 知巳 先生
「これまでとこれからのがんゲノム医療 後編」
- 令和3年11月25日（木）18時30分～21時10分
東京薬科大学大学院薬学研究科 臨床薬理学教室 教授
下枝 貞彦 先生
「がん専門薬剤師による支持療法」
- 令和3年11月26日（金）18時30分～21時10分
東京薬科大学大学院薬学研究科 医薬品安全管理学教室 教授
杉浦 宗敏 先生
「がん化学療法と緩和医療」
- 令和3年12月3日（金）18時30分～20時00分
飯山赤十字病院 薬剤部
滝澤 康志 先生
「在宅患者に対するがんの薬物治療と緩和ケア」
- 令和3年12月17日（金）18時30分～20時00分
株式会社クリニカルサポート東京本社 代表取締役社長
橋本 ひろ美 先生
「抗がん剤の臨床試験とCRC」
- 令和4年1月21日（金）18時30分～20時00分
日本赤十字社和歌山医療センター薬剤部 製剤管理係長
藤原 大朗 先生
「がんゲノム医療連携病院における薬剤師の関わり」
- 令和4年2月18日（金）18時30分～20時00分
神奈川県立がんセンター 臨床研究所がん分子病態学部
田所 弘子 先生
「悪性腫瘍に対するゲノム・プレシジョン医療の基礎知識」
- 令和4年2月25日（金）18時30分～20時00分
福岡大学筑紫病院 薬剤部 主任
内山 将伸 先生
「高齢者がん薬物療法における薬剤師の関わり」

2021年度 臨床腫瘍薬学特論の特徴

- 大手チェーン保険薬局への定期的な講義配信（インテンシブコース）
- がん臨床試験領域の補填
CRC企業に講師依頼
- 稀少がん領域の補填
長野県立こども病院との連携
- 緩和ケア領域の補填
循環器腫瘍学領域を追加
- ゲノム医療領域の補填
個別化薬物治療学・ゲノム・プレシジョン化薬物治療学領域を追加
- 全講義対象のWebによる遠隔地ライブ配信
- 最終年度の成果も兼ね、本事業履修終了後の社会人講師によるUp To Date特別講義を予定



緩和ケア医療者養成コース（大学院・インテンシブ） ゲノム医療者養成コース（大学院）

2021年度臨床腫瘍薬学特論

科目担当責任教員：下枝 貞彦 東京薬科大学大学院薬学研究科 教授

開講日	時限	分野	講義内容	担当者	
6月18日	1限	ゲノム医療	がん治療におけるゲノム解析の分析方法	中川 沙織	新潟薬科大学薬学部薬品分析化学研究室 准教授
6月25日	1限	ゲノム医療	深在性真菌症に対する個別化治療	畔蒜 祐一郎	東京薬科大学薬学部 臨床薬剤学教室
7月9日	1限	ゲノム医療	がんゲノムと免疫療法	石橋 健一	女子栄養大学栄養学部 生体防御学研究室 准教授
7月30日	1限	緩和ケア	薬剤師によるCardio-Oncologyの実践	平田 尚人	東京薬科大学薬学部 臨床薬剤学教室
9月3日	1限	緩和ケア	末梢神経症障害	勝山 壮	日本薬科大学臨床薬学分野 教授
9月17日	1限	緩和ケア	緩和ケアにおける薬学的アプローチ	萬谷 摩美子	医療法人愛和会愛和病院薬局長
9月24日	1限	ゲノム医療	コンパニオン診断に基づくがん薬物療法	花輪 和己	山梨県立中央病院薬剤部
10月8日	1限	緩和ケア	亜ヒ酸の作用とその臨床応用	袁 博	城西大学薬学部 薬学科 薬品作用学研究室 准教授
10月29日	1限	緩和ケア	スピリチュアルケア はじめの一步	大和 孝明	特定医療法人新生病院 チャプレン
11月12日	1限	緩和ケア	小児がんの薬物療法	石川 友貴	長野県立こども病院薬剤部
11月22日	1限	ゲノム医療	これまでとこれからのがんゲノム医療①	降旗 知巳	東京薬科大学 薬学部 個別化薬物治療学教室
11月24日	1限	ゲノム医療	これまでとこれからのがんゲノム医療②	降旗 知巳	東京薬科大学 薬学部 個別化薬物治療学教室
11月25日	1限	緩和ケア	がん専門薬剤師による支持療法	下枝 貞彦	東京薬科大学薬学部 臨床薬剤学教室
11月26日	1限	緩和ケア	がん化学療法と緩和医療	杉浦 宗敏	東京薬科大学薬学部 医薬品安全管理学教室
12月3日	1限	緩和ケア	在宅患者に対するがんの薬物治療と緩和ケア	滝澤 康志	飯山赤十字病院 薬剤部 調剤兼製剤課長
12月17日	1限	ゲノム医療	抗がん剤の臨床治験とCRC	橋本 ひろ美	株式会社クリニカルサポート東京本社 代表取締役社長
1月21日	1限	ゲノム医療	がんゲノム医療連携病院における薬剤師の関わり	藤原 大一郎	日本赤十字社和歌山医療センター 薬剤部 製剤管理係長
1月29日		市民公開講座	AYA世代がん患者を診るときに大切なこと ～生殖の話をしよう！～	塚本 可奈子	武蔵野赤十字病院産婦人科 副部長
			AYA世代患者に対するがん専門薬剤師の役割	高山 慎司	聖路加国際病院薬剤部 アシスタントマネージャー
			AYA世代患者に対するがん専門看護師の役割	近江 圭祐	杏林大学医学部付属病院看護部 看護学修士 がん専門看護師
2月18日	1限	ゲノム医療	悪性腫瘍に対するゲノム・プレジジョン医療	田所 弘子	神奈川県立がんセンター 臨床研究所がん分子病態学部
2月25日	1限	緩和ケア	高齢者がん薬物療法における薬剤師の関わり	内山 将伸	福岡大学筑紫病院 薬剤部 主任
2月10日	1限	ゲノム医療	Up To Date 特別補講① Cardio-Oncologyの基礎と臨床	佐瀬 一洋	順天堂大学大学院医学研究科 臨床薬理学 教授
2月24日	1限	緩和ケア	Up To Date 特別補講② がんサバイバーに対する心臓リハビリテーション	吉国 健司	地域医療機能推進機構(JCHO)九州病院薬剤部



緩和ケア医療者養成コース（大学院・インテンシブ） ゲノム医療者養成コース（大学院）

2021年度臨床腫瘍薬学特論 受講者人数 2021.11.30現在

日付	講義名	講師	推奨コース	大学院生	学部生	薬剤師	
						本学	遠隔地
2021/6/18	第1回臨床腫瘍薬学特論	中川沙織	ゲノム	3	9	6	2
2021/6/25	第2回臨床腫瘍薬学特論	畔蒜祐一郎	緩和	3	10	5	4
2021/7/9	第3回臨床腫瘍薬学特論	石橋健一	ゲノム	3	10	6	3
2021/7/30	第4回臨床腫瘍薬学特論	平田尚人	ゲノム	3	10	5	2
2021/9/3	第5回臨床腫瘍薬学特論	勝山壮	緩和	3	8	6	3
2021/9/17	第6回臨床腫瘍薬学特論	萬谷摩美子	緩和	3	8	6	3
2021/9/24	第7回臨床腫瘍薬学特論	花輪和己	ゲノム	3	8	6	3
2021/10/8	第8回臨床腫瘍薬学特論	袁博	ゲノム	3	9	6	3
2021/10/29	第9回臨床腫瘍薬学特論	大和孝明	緩和	3	8	6	3
2021/11/12	第10回臨床腫瘍薬学特論	石川友貴	緩和	3	9	6	3
2021/11/22	第11回臨床腫瘍薬学特論	降旗知巳	ゲノム	3	0	6	3
2021/11/24	第12回臨床腫瘍薬学特論	降旗知巳	ゲノム	3	0	6	3
2021/11/25	第13回臨床腫瘍薬学特論	下枝貞彦	緩和	3	0	5	3
2021/11/26	第14回臨床腫瘍薬学特論	杉浦宗敏	緩和	3	0	6	3
2021/12/3	第15回臨床腫瘍薬学特論	滝澤康志	緩和				
2021/12/17	第16回臨床腫瘍薬学特論	橋本ひろ美	ゲノム				
2022/1/21	第17回臨床腫瘍薬学特論	藤原大一郎	ゲノム				
2022/1/29	第18回臨床腫瘍薬学特論	塚本可奈子 高山慎司 近江圭祐	緩和				
2022/2/18	第19回臨床腫瘍薬学特論	田所弘子	ゲノム				
2022/2/25	第20回臨床腫瘍薬学特論	内山将伸	緩和				
合計				42	89	81	41



2021年度薬剤師部会活動状況①

2021年度第1回 薬剤師部会議事次第

日 時： 2021年6月4日（金）17時

議 長： 下枝 貞彦（東京薬科大学）

※オンライン(Zoom)で開催

◎報告事項

- 1.未来がんプロにおける薬剤師キャリアパス形成のための支援事業の実施状況（活動計画）

東京薬科大学：下枝 貞彦より報告

弘前大学：新岡 丈典 先生より報告

東京医科大学：東 加奈子 先生より報告

国際医療福祉大学：辻 稔 先生より報告

聖マリアンナ医科大学：湊川 紘子 先生より報告

慶應義塾大学：服部 豊 先生より報告

慶應義塾大学との共催事業について

患者会との連携について

薬剤師部会による市民公開講座の開催について

- 2.がんプロ終了後の連携維持態勢について

閉会挨拶：弘前大学大学：新岡 丈典 先生

※2021年度第2回「未来がん医療プロフェッショナル養成プラン」

薬剤師部会開催予定日時

2021年9月10日（金）17時からオンライン(Zoom)で開催

◎協議事項

議長 下枝 貞彦より説明資

- 1.がんプロ最終年度における薬剤師部会事業計画について



2021年度薬剤師部会活動状況②

薬剤師部会議メール会議にて以下の案件を協議し承認

国際医療福祉大学 がんプロ公開講座
「がん薬物療法における薬剤師への期待、
果たすべき役割」企画について

開催予定日
2021年11月7.14.21日（日曜日）のいずれか

主催 国際医療福祉大学
共催 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン 薬剤師部会

担当委員
国際医療福祉大学薬学部 辻稔
国際医療福祉大学病院 佐藤淳也

企画趣旨
がん医療における薬剤師の役割は、ますます高まっている。がんプロフェッショナル養成プランの薬剤師部会では、「がん薬物療法における薬剤師への期待、果たすべき役割」をメインテーマに、公開講座を企

画した。構成は、特別講演として「がん薬物療法の進歩とそれに関わる薬剤師への期待」とし、がん医療のうち薬物療法の進歩とそれに関わる薬剤師に期待される役割を医師の立場より講演を賜る。そして、薬剤師部会の他大学部会施設から、「臨床教育」、「臨床研究」、「臨床実務」をテーマに一般講演を企画する。

聴講対象者は、がん医療に関心のある一般聴講者も受け入れるほか、大学院生、医療系職員、他大学からの薬学系聴講者を広く受け入れる。本プラン最終年度における薬剤師育成などプランの成果を含む発表を行うものとする。

(Zoom)で開催



2021年度薬剤師部会活動状況③

2021年度第2回 薬剤師部会議事次第

日 時： 2021年9月10日（金）17時

議 長： 下枝 貞彦（東京薬科大学）

※オンライン(Zoom)で開催

閉会挨拶：

18時00分終了予定

◎報告事項ならびに協議事項

議長 下枝 貞彦より説明

1. がんプロ最終年度における薬剤師部会
事業計画について

□薬剤師部会による市民公開講座の開催に
ついて

国際医療福祉大学薬学部

薬学科 副学科長 薬理学分野 辻 稔

教授

慶応義塾大学との共催事業について

慶應義塾大学 大学院薬学研究科

病態生理学講座 服部 豊 教授

2. がんプロ終了後（次期延期中）の連携維
持態勢について

※2021年度第5回「未来がん医療プロ
フェッショナル養成プラン」

薬剤師部会開催予定日時

2021年12月10日（金）17時からオンライン
(Zoom)で開催



2021年度薬剤師部会活動状況④

共催事業の展開

文部科学省事業 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
「未来がん医療プロフェッショナル養成プラン」

国際医療福祉大学大学院 がんプロ一般市民公開講座

※本件イベントの会場開催はありません。WEB視聴のみとなります。

がん薬物療法における薬剤師への期待、果たすべき役割

【企画趣旨】 がん医療における薬剤師の役割は、ますます高まっています。「未来がん医療プロフェッショナル養成プラン」の薬剤師部会と共催して、薬剤師に焦点を当てた公開講座を企画しました。構成は、特別講演として、国際医療福祉大学医学部長の河上裕先生が、がん・precision medicine時代の免疫療法など薬物療法における薬剤師への期待について医師の立場から講演を行います。また、一般講演として、薬剤師部会の各大学施設の薬剤師が、「臨床教育」、「臨床研究」、「臨床実務」をテーマとして薬剤師の立場から講演を行います。

WEB視聴開始日時：令和3年**11月21日(日)** 18:00～

＜対象＞ 一般市民、医療関係者、学校関係者、学生・大学院生
※収録映像をWEBサイトからご視聴頂けます。

視聴可能期間：1ヶ月(12/31(金)まで)



【プログラム】

コーディネーター：

辻 稔 国際医療福祉大学大学院 薬学研究科/薬科学研究科 教授

佐藤 淳也 国際医療福祉大学病院 薬剤部長
国際医療福祉大学大学院 薬学研究科/薬科学研究科 准教授

●開会挨拶：三浦 総一郎 国際医療福祉大学大学院長

●一般講演：＜座長＞佐藤 淳也

横山 雄太 慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 医療薬学部門
「薬学部におけるがん医療人育成に向けた臨床教育」

東 加奈子 東京医科大学病院 薬剤部 主査
「がん医療に携わる病院薬剤師の育成」

湊川 紘子 聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 係長
「がん領域における臨床研究 薬剤師の挑戦」

照井 一史 弘前大学医学部附属病院 薬剤部 主任
「がん医療人としての薬剤師が行う臨床実務」

●特別講演：＜座長＞辻 稔

河上 裕 国際医療福祉大学 医学部長 免疫学教授
「がんのprecision medicine:免疫療法など薬物療法における薬剤師への期待」

●総括：辻 稔

【お申込み・お問合せ先】

●申込期間：11月15日(月)～12月30日(木)

●申込方法：申込フォーム(<https://forms.gle/gdZhkuxX4ghWS5cr8>)へ
入力をお願いします。受付終了後に視聴案内をメールにてお送りします。

※Internet Explorer以外のブラウザをご利用ください。
国際医療福祉大学大学院 がんプロ事務局 Tel: 03-5574-3900

申込フォームへのアクセス

【Email】 ganpro-jimukyoku@iuhw.ac.jp



2021年度

慶應義塾大学薬学部公開講座

第2回がんプロフェッショナル研修会

2021年 10月17日(日)

9:00～17:00 (受付 8:30～)

- ・定員：30名 / 受講料：3,000円
- ・申込締切：10月1日(金)
- ・会場：慶應義塾大学 芝共立キャンパス 2号館4階460大講堂



AYA(Adolescent & Young Adult)世代のがん患者に対する 薬剤師のかかわり

プログラム/午前	9:00～9:05	開会挨拶
	9:05～9:35	【講演】「AYA世代のがん治療と長期フォローアップ」 平井 麻衣子(日本大学医学部附属板橋病院 小児科・新生児科 助教)
	9:35～10:05	【講演】「AYA世代がん患者のこころのケア」 平山 貴敏(国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科)
	10:05～10:35	【講演】「薬剤師目線で見えるAYA世代患者との関わり」 宇田川 涼子(国立がん研究センター中央病院 薬剤部 主任)
	10:45～11:05	【症例検討】「AYA世代患者に対して、薬剤師として何ができるかを課題症例を通じて考える～30代の乳がん患者の事例を通して～」 小田 泰弘(虎の門病院 薬剤部)
プログラム/午後	11:05～14:15	SGD(スモールグループディスカッション/昼休題)
	14:15～16:20	発表・症例検討解説・質疑応答・フィードバック
	16:20～16:50	【教育講演】「がん生殖医療の最前線 卵子・受精卵・卵巣凍結法」 山田 満裕(慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 専任講師)
	16:50～17:00	閉会挨拶

＜コーディネーター＞

川上 和直(がん研究会有明病院 薬剤部 臨床薬剤室長)

＜フシリテーター＞

川上 和直(がん研究会有明病院 薬剤部 臨床薬剤室長)

宇田川 涼子(国立がん研究センター中央病院 薬剤部 主任)

小田 泰弘(虎の門病院 薬剤部)

徳重 雄太(帝京大学医学部附属病院 薬剤部 主任)

笠井 雄佑(慶應義塾大学病院 薬剤部)

船原 秀明(東京医科大学病院 薬剤部)

葉山 達也(日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任)

中島 寿久(国立がん研究センター中央病院 薬剤部 主任)

小林 一男(がん研究会有明病院 薬剤部)

谷川 大夢(東海大学医学部附属病院 薬剤部)

藤宮 龍祥(東京薬科大学 薬学部 医療薬学 医療実務薬学教室 助教)

薬剤師業務に従事し、がん患者の方に関わっている方に適した研修会です。

＜取得可能単位＞

- ・慶應義塾大学薬学部 生涯研修認定単位 4単位
- ・日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師講習(研修)認定単位 3単位(申請中)
- ・日本医療薬学会 がん専門薬剤師講習会・教育セミナー認定単位 3単位(申請中)

*終了後、症例サマリを作成、期日までに提出して頂きます。プログラム全てを受講し、課題を提出した受講者へのみ単位認定いたします。

*新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期・中止になる可能性があります。

*SGDは感染対策を講じたうえで実施します。

- 主催：慶應義塾大学薬学部
- 共催：文部科学省 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
未来がん医療プロフェッショナル養成プラン・同薬剤師専門部会

＜申込方法＞

下記生涯学習Webサイトからお申込下さい。

受講料の振込をもって受講申込となります。

https://cpec.pha.keio.ac.jp/o_class/list.html

*個人情報の取扱：申込時に提供された個人情報は受講者

管理及び御案内の発送以外の目的には使用いたしません。

日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師講習(研修)認定/日本医療薬学会 がん専門薬剤師講習会・教育セミナー認定



2021年度薬剤師部会活動状況⑤

2021年度第3回 薬剤師部会議事次第

日時： 2021年12月10日（金）17時

議長： 下枝 貞彦（東京薬科大学）

※オンライン(Zoom)で開催

開催挨拶：東京薬科大学大学 下枝 貞彦

◎報告事項ならびに協議事項

議長 下枝 貞彦より説明

1. 薬剤師部会共催事業 実施報告

薬剤師部会による市民公開講座

国際医療福祉大学薬学部

薬学科 副学科長 薬理学分野

辻 稔 教授

慶應義塾大学薬学部公開講座

第2回がんプロフェッショナル研修会

慶應義塾大学 大学院薬学研究科

病態生理学講座

服部 豊 教授

2. がんプロ終了後の連携維持態勢について

3. その他

閉会挨拶：

18時00分終了予定

※2021年度第6回「未来がん医療プロフェッショナル養成プラン」

薬剤師部会開催予定日時

2022年 3月4日（金）17時からオンライン(Zoom)で開催



「専門医療機関連携薬局」制度の運用開始

令和3年8月1日に行「患者のための薬局ビジョン」
（平成27年10月23日策定）で示された
かりつけ薬剤師・薬局における機能や高度薬学管
理機能を元にした地域連携薬局及び専門医療機関
連携薬局の認定を開始



敷地内院外薬局≡
がん専門医療機関連携薬局

2022年4月の報酬改定ではこの法改正が影響？



「専門医療機関連携薬局」認定に必要な専門 医療機関（病院薬剤部）との関わり

- がんの専門性の認定（日本医療薬学会）を受けた常勤の薬剤師の配置に必要な薬剤師研修の受け入れ
- がんの専門医療機関などとの連携体制（一定の実績）
- がんの専門医療機関との間で開催される会議への継続的な参加
- がんの医薬品の適正使用に関する情報提供の実績



未来がん医療プロ
フェッショナル養成
プランとの連携

薬剤師部会による援助



がん医療プロフェッショナル養成プラン 5年間の主たる事業実施内容

2017年度

- 遠隔地会議システムの導入
- 大学院薬学研究科 薬学専攻博士課程ゲノム医療者養成コース・緩和ケア医療者養成コース プレ講座を計4回開催
薬剤師24名 学部生48名が参加
- 連携校、関連病院とのネットワーク構築

2018年度

- 大学院薬学研究科 臨床腫瘍薬学特論として緩和ケア医療者養成コース（大学院・インテンシブ）、ゲノム医療者養成コース（大学院）、Up to Date 特別補講を開催
- 遠隔地会議システムの本格運用開始

2019年度

- 遠隔地会議システムによる大学院講義の継続

2020年度

- 全講義をZoomによるライブ配信と録画提供に変更し、大学院講義の継続
- 薬剤師部会の定期会議を開催 年3回

2021年度

- 全講義をZoomによるライブ配信と録画提供に変更し、大学院講義の継続
- 薬剤師部会の定期会議を開催 年4回（予定）
- 薬剤師部会共催による市民公開講座とワークショップの開催

表.臨床腫瘍薬学特論の受講者推移（2017年度～2021年度）

事業年度	臨床腫瘍薬学特論	特別補講	博士課程	修士課程	学部生	医師	薬剤師	看護師	放射線技師	うちサテライト受講者
2017年度	プレ講座9講	0	0	48	0	24	0	0	0	0
2018年度	15	5	18	1	33	6	68	0	0	58
2019年度	18	3	17	0	65	9	75	2	1	51
2020年度	20	0	41	0	150	0	106	0	1	41
2021年度	19	2	42	0	89	0	122	0	0	41
合計	72	10	118	1	337	15	371	2	2	191

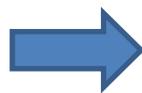
2021年度は12月1日現在



教育プログラム・コース修了者のキャリアパス実績 2017年度～2021年度

ゲノム医療者養成コース

- がん専門薬剤師
- 大学教員



- 大学院博士課程のコース受講者1名が学位取得後、さいたま赤十字病院薬剤部に就職。がん専門薬剤師の資格取得に向け準備中。
- コース受講者1名が、がん専門薬剤師の資格更新終了。
- コース受講修了者1名（博士3年）がJST次世代研究者挑戦的研究プログラム採択未来医療創造人育成プロジェクトに採択され、卒業後は大学教員を視野に研鑽中。

緩和ケア医療者養成コース

- 緩和薬物療法認定薬剤師等
- 緩和ケアに特化した薬剤師
- 緩和ケア分野認定看護師
- がん化学療法看護分野認定看護師
- 癌性疼痛看護分野認定看護師
- 乳がん看護分野認定看護師
- がん放射線療法分野認定看護師
- 専門作業療法士（がん分野）
- がん病態栄養専門管理栄養士



同上が学位取者1名が、緩和薬物療法認定薬剤師の資格取得に向け準備中。

がん専門薬剤師・緩和薬物療法認定薬剤師の資格取得には実務経験が5年以上必要なため、本事業修了後もキャリアパス取得には時間を要する見込み。